

営農情報(令和6年7月)

作成・監修 勝浦町農業振興推進班

温州みかんは生理落果が終わり今年は表年となっておりますが、前年よりやや多い程度と予想しております。すだち、ゆずは前年が表年で収穫量が多かったことから今年の着果量は少ない状況となっております。

■温州みかん

◇果実の体質・果皮の強化(カンキツ類共通)

果皮の強化と品質向上に加え貯蔵性を高めるため、石灰(カルシウム)を施用する。

- ・葉面散布・・・カルタス500～1000倍(9月まで農薬散布に混用)
- ・土壌施用・・・有機石灰 100kg/10a (梅雨期間中施用 例:サンライム、セルカ等)

◇摘果

- ・粗摘果の時期は、極早生は7月上旬、早生は7月下旬、中生・普通は8月上旬から始めます。
- ・高糖系の隔年交互結実樹は、着果過多により2S以下の小玉が想定される場合は、8月に粗摘果を行い、9月中旬から10月にかけて仕上げ摘果を行います。
- ・摘果する果実は、低品質になる果実を優先的に落とし、後半の仕上げ摘果で傷果、腰高果、上向き果を落とします。

■すだち

◇摘果・摘葉

裏年となっている今年は、新梢葉が繁茂し、葉陰になった果実が多くなっているため、果実に日射があたるように摘果・摘葉を行きましょう。

■かき

◇摘果

摘果は生理落果終了後から作業適期となり、早く行うほど効果が高くなるので、7月いっぱい終了させましょう。「次郎」は果頂裂果予防のため、摘果しすぎないようにしましょう。

【病害虫防除】

温州みかん

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
7月中下旬	ミカンハダニ	コロマイト(水)または	2,000	7日	2回以内
	ミカンサビダニ	ダブルフェース(フ)加用	3,000	前日	1回
	黒点病	ジマンダイセン(水)	600	30日	4回以内
	ゴマダラカミキリ	エクシレルSE または	5,000	前日	3回 "
	チャノキイロアザミウマ	アクタラ(顆水)	2,000	14日	3回 "

すだち

7月上旬～下旬	かいよう病	マスタピース(水) (発病前～発病初期)	2,000	—	—
	ヨモギエダシヤク	エクシレルSE または ロディー(乳)	5,000 2,000	前日 7日	3回以内 4回 "
	ミカンハダニ	コロマイト(水)または	2,000	7日	2回 "
	ミカンサビダニ	ダニゲッター(フ)または	2,000	前日	1回
	黒点病	ストロビー(ド)	2,000	14日	3回以内
	カネタタキ アザミウマ類	ハチハチ(フ)	2,000	前日	2回 "

ゆず

7月中下旬	ミカンハダニ	ダブルフェース(フ)または	3,000	前日	1回
	ミカンサビダニ	コロマイト(水) 加用	2,000	7日	2回以内
	黒点病	ジマンダイセン(水)	600	90日	4回 "
	" (青玉用)	ストロビー(ド)	2,000	14日	3回 "

※上記カンキツの黒点病薬剤には、固着剤としてアビオンEを1,000倍加用のこと。

かき

7月上中旬	炭疽病、落葉病	ラビライト(水)加用	500	45日	2回以内
	カメムシ類	モスピラン(顆水)	2,000	前日	3回 "

■水稲

◇中干し

- (1) 密植圃場では、15本程度の茎数で軽く中干しを行う。
- (2) 幼穂形成期(出穂25日前)以降は、幼穂の発育期となり、水分を必要とする時期なので、田面が乾かないように管理する。

◇穂肥

元肥一発肥料を使った場合は必要ないが、化成肥料による元肥の場合は、BBみのりを施用する。コシヒカリの場合は出穂15日前(幼穂3cm)に15kg、コシヒカリ以外の品種は出穂21日前(幼穂5mm)に20kgを目安として、葉色が濃い場合は減らすようにする。

◇病害虫防除

対象病害虫	薬剤名	散布量	収穫前日数	使用回数
いもち病	コラトップ粒剤5	3～4kg/10a	葉いもち初発10日前～初発時 穂いもち出穂30日前～5日前	2回以内
紋枯れ病	リンバー粒剤	3～4kg/10a	30日	2回 //
カメムシ類 ウンカ類	キラップ粒剤	3kg/10a	14日	2回 //

夏野菜

■スイートコーン

- ・株元のわき芽や、2番目以降の雌穂は、根を傷めたり、茎葉を傷つける恐れがあるので放任しておきます。収穫は、早朝に行います。
- ・アワノメイガについては、雄穂の出穂～開花期にパダン粒剤4を 6kg/10a(収穫7日前/2回以内)株の上から均一に散粒するか、プレバソフフロアブル5 2000倍(収穫前日/3回以内)を散布します。

■オクラ

- ・1番花の開花から果実2cmくらいまでの間に1回目の追肥をします。草勢をみながら、チッソ成分で 2kg/10a程度を月1～2回行います。
- ・葉かぎは、着果節から3～4枚を残してかぎ取りますが、草勢が弱いときは控えます。
- ・ハスモンヨトウ、オオタバコガの防除は、プレバソフフロアブル5 2,000倍(収穫前日、3回以内) または コテツフロアブル 2,000倍(収穫前日/2回以内)を散布します。

【役場からのお知らせ】

去る4月18日に、勝浦町ドローン防除推進協議会の設立総会が開催されました。

温州みかんのドローン防除を導入するため、役場ほかJA、県、ドローン取扱業者が集まり、合意形成を図ることを目的としています。

設立総会では、令和7年度を目途に、「JA東とくしまを事業主体としてリースドローンを導入すること。リースドローンの引き受け手としてのオペレーターを募集し、教習費の補助をすること。」などの方針が定められました。

今年度は、今山でドローン防除一貫体系の試験を行い、12月にはオペレーター募集の案内ができるよう準備中です。また現在、勝浦町内ではドローン防除を請負う民間業者が2社活動しています。

ドローン防除について関心のある方、質問や意見のある方は、お気軽に役場農業振興課までお問い合わせください。



<お問い合わせ先>

勝浦町農業振興推進班

勝浦町農業振興課42-1505 JA農業振興戦略実践課088-538-7180 徳島農業支援センター088-626-8768